

学びのソムリエAI

教育データの集積と有効活用による学生個々の学び支援

山梨大学のDX推進状況と課題 基盤整備/コロナ対応完了・活用が課題



- (1)教育情報システム基盤 (無線LAN, LMS, 学内SNS, 学修PF, SSO) の整備・活用 (了)
- (2) 3ポリシーの詳細化・実質化 (特にディプロマポリシー (DP)) と教育プログラム毎のDPに基づく内部質保証システムの導入と実質化 (了)
- (3) 教学データ (履修科目・出欠・成績など) を多角的に自動分析する教学IRシステム (Auto-IRシステム) の新規開発と学生毎にDP達成度を随時開示することで学生の主体的な学びを支援する「**学びチャート**」 (学修状況診断レポート) の提供
- (4) 教学データに加えて学生によるLMSへのアクセスログ・小テストの回答状況・入力テキストなどの**異種混合教学ビッグデータのAI分析**によって、必須科目のみならず、履修することが望ましい科目、学生の興味関心に適合した学内講演会、連携大学の単位互換科目などを紹介/推奨する「**学びのソムリエAI**」の実現 (ここではXRシミュレーション教育は割愛)

課題: 研究時間↓ 学生の多様性↑ 大学への要求↑ データ活用必要性↑ 教育負荷↑ 遠隔授業による実験・実習の教育効果↓ **教育ICT基盤システム連携**

目標: 教学ICTデータを活用した学びのソムリエAIの実装により、教員の負担増なしに学生個々の学びを最適化

事業評価: 質問紙調査を実施

1. DP達成にむけた学びの指針が得られたか
2. 自身の得意・不得意の把握状況に変化が生じたか
3. 必須科目以外の授業履修や講演会への参加意欲は向上したか
4. 専攻分野以外への学びの拡大に寄与したか

事業実施のタイムライン

実施項目	2021年							2022年			
	3月	4月	5月	6月	7月	...	9月	...	1月	2月	3月
仕様策定	→										
環境構築			▲	▲	▲	▲	▲				
分析検証				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

注: 2021年5月「契約締結」、7月「機器納入」、2022年1月「一次仕様変更」、2月「二次仕様変更」、3月「最終仕様決定」

「学びのソムリエAI」取組概要



事業実施体制

- 大学教育センター, システム企画室, 教務企画課, 情報システム課, 協力企業の5者が連携して全学展開
- 定例教学会議と外部有識者や卒業生を含むステークホルダーミーティングで実施状況を報告